

(表 3-7-5-3) 潜在クラスモデル評価(入浴拒否の解決に役立った情報の組み合わせパターン)
(情報量規準など)

| モデル(クラス数) | 情報量規準 | | Classification Statistics | | | |
|-----------------|---------|---------|---------------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| | BIC | AIC | Class.Err. | Reduction errors | Entropy R-squared | Standard R-squared |
| モデル1(クラス数1) | 43499.1 | 43244.8 | 0.000 | 1.000 | 1.000 | 1.000 |
| モデル2(クラス数2) | 42923.6 | 42409.1 | 0.100 | 0.641 | 0.575 | 0.623 |
| モデル3(クラス数3) | 42731.6 | 41956.9 | 0.202 | 0.666 | 0.543 | 0.564 |
| モデル4(クラス数4) | 42671.7 | 41636.8 | 0.206 | 0.665 | 0.580 | 0.576 |
| モデル5(クラス数5) | 42713.4 | 41418.3 | 0.204 | 0.657 | 0.610 | 0.586 |
| モデル6(クラス数6) | 42841.7 | 41286.4 | 0.225 | 0.668 | 0.607 | 0.580 |
| モデル7(クラス数7) | 43018.3 | 41202.7 | 0.249 | 0.672 | 0.620 | 0.570 |
| モデル8(クラス数8) | 43218.8 | 41143.0 | 0.258 | 0.664 | 0.621 | 0.563 |
| モデル9(クラス数9) | 43452.2 | 41116.2 | 0.261 | 0.666 | 0.637 | 0.570 |
| モデル 10(クラス数 10) | 43727.0 | 41130.8 | 0.281 | 0.642 | 0.623 | 0.551 |
| モデル 11(クラス数 11) | 43979.0 | 41122.6 | 0.273 | 0.666 | 0.631 | 0.556 |
| モデル 12(クラス数 12) | 44212.8 | 41096.2 | 0.253 | 0.680 | 0.671 | 0.592 |
| モデル 13(クラス数 13) | 44516.6 | 41139.8 | 0.249 | 0.695 | 0.677 | 0.594 |
| モデル 14(クラス数 14) | 44806.5 | 41169.5 | 0.265 | 0.659 | 0.667 | 0.573 |
| モデル 15(クラス数 15) | 45052.4 | 41155.1 | 0.260 | 0.695 | 0.680 | 0.585 |
| モデル 16(クラス数 16) | 45325.1 | 41167.6 | 0.245 | 0.687 | 0.709 | 0.611 |
| モデル 17(クラス数 17) | 45662.4 | 41244.7 | 0.265 | 0.673 | 0.690 | 0.587 |
| モデル 18(クラス数 18) | 45886.2 | 41208.3 | 0.277 | 0.679 | 0.701 | 0.578 |

(表 3-7-6-1) 絶対にやっつけてはいけない対応

| | 有効回答数 | 何日も入浴しない で放っておく | 拒否されているか らそのままに 関わらない | 入浴の間だから と介護者の側 のペースで誘 う | 本人の意志や 気分を考えず 無理矢理入浴 させる | 間をあげず、 何度も誘う | いきなりお湯 をかける | だまして浴室 に連れて行く | 感情的に対応 する | 自尊心を傷つ ける言葉(汚 い、臭いなど) で説得しよう とする | わざと服を濡 らす、汚す等 して入浴させ る | その他 |
|-------|-------|--------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------|----------------|------------------|--------------|--|---------------------------------|-----|
| 実数 | 318 | 281 | 281 | 244 | 292 | 259 | 291 | 156 | 283 | 280 | 228 | 27 |
| パーセント | 100.0 | 88.4 | 88.4 | 76.7 | 91.8 | 81.4 | 91.5 | 49.1 | 89.0 | 88.1 | 71.7 | 8.5 |

7. 排泄介護拒否への成功事例調査

1) 回答者属性

本調査の回答 318 件における回答者の年齢、性別、職名、役職、資格、所属事業種、勤続年数、総介護経験年数について割合を算出した。

(1) 年齢

有効回答 307 件における回答者の平均年齢は、42.8 歳 (SD13.1 歳) で最少年齢が 19 歳、最高年齢が 94 歳であった。(表 3-8-1-1 参照)

(2) 性別割合

有効回答 310 件中、回答者の性別割合は男性が 51 件 (16.5%)、女性が 259 件 (83.5%) と女性の割合が多かった。(表 3-8-1-2 参照)

(3) 職名の割合

有効回答 302 件中、回答者の職名の割合はケアワーカーが 138 件 (45.7%)、ケアマネージャーが 91 件 (30.1%)、看護師が 24 件 (7.9%)、相談員が 5 件 (1.7%) となっている。(表 3-8-1-3 参照)

(4) 役職の割合

有効回答 302 件中、回答者の役職の割合は管理者が 104 件 (34.4%)、主任・リーダーが 78 件 (25.8%)、施設長が 8 件 (2.6%)、事務長が 1 件 (0.3%) で、114 件 (37.7%) が役職なしであった。(表 3-8-1-4 参照)

(5) 資格の所有割合

有効回答 305 件中、回答者の資格の所有割合は介護福祉士が 191 件 (62.6%)、ケアマネージャーが 123 件 (40.3%)、ヘルパーが 116 件 (38.0%)、看護師 (准看護師) が 34 件 (11.1%)、社会福祉士が 6 件 (2.0%) であった。(表 3-8-1-5 参照)

(6) 所属事業種の割合

有効回答 308 件中、回答者の所属事業種は認知症対応型共同生活介護事業が 293 件 (95.1%)、介護老人福祉施設が 3 件 (1.0%)、介護老人福祉施設 (ユニット型) と小規模多機能型通所介護事業が各 2 件 (0.6%) であった。(表 3-8-1-6 参照)

(7) 所属事業所での勤続年数

有効回答 313 件中、回答者の所属事業所での平均勤続年数は、4.6 年 (SD3.5 年) で最少が 0.1 年、最高が 23.0 年であった。(表 3-8-1-7 参照)

(8) 総介護経験年数

有効回答 308 件中、回答者の総介護経験の平均年数は、9.0 年 (SD5.7 年) で最少が 0.5 年、最高が 44.9 年であった。(表 3-8-1-8 参照)

2) 排泄介護拒否の解決経験

本調査に回答を得た 318 件における排泄介護拒否の解決経験、解決した高齢者に

関する年齢、性別、認知症の原因疾患、身体機能の障害とADL、認知症の重症度、身体障害の重症度について割合を算出するとともに、介助や重症度などによるパターン化を行った。

(1) 解決経験の有無

有効回答 313 件中、排泄介護拒否で解決経験があるのは 300 件 (95.8%) であった。(表 3-8-2-1 参照)

(2) 高齢者の状態

① 年齢

解決経験がある 300 件のうち有効回答 279 件における高齢者の平均年齢は、84.2 歳 (SD6.3 歳) で最少年齢が 56 歳、最高年齢が 101 歳であった。その分布をみると、80 歳～84 歳が 89 件 (31.9%) で最も多い。(表 3-8-2-2 参照)

② 性別

性別割合は、有効回答 295 件中、男性が 55 件 (18.6%)、女性が 240 件 (81.4%) と女性が多い。(表 3-8-2-3 参照)

③ 認知症の原因疾患

認知症の原因疾患は、有効回答 270 件中、アルツハイマー型が 146 件 (54.1%)、脳血管疾患型が 69 件 (25.6%)、前頭側頭型が 1 件 (0.4%)、混合が 23 件 (8.5%) であった。(表 3-8-2-4 参照)

④ 身体機能の障害とADL

【機能障害部位】

機能障害部位は、有効回答 300 件中、下肢が 88 件 (29.3%)、上肢が 2 件 (0.7%)、体幹が 5 件 (1.7%) であり、残りの 205 件 (68.3%) が機能障害なし (=無回答) であった。(表 3-8-2-5 参照)

【食事介助】

食事介助は、有効回答 281 件中、自立が 189 件 (67.3%)、一部介助が 80 件 (28.5%)、全介助が 12 件 (4.3%) であった。(表 3-8-2-6 参照)

【移動】

移動は、有効回答 236 件中、短距離歩行自立が 142 件 (60.2%)、長距離歩行自立が 63 件 (26.7%)、杖自立が 29 件 (12.3%) であった。(表 3-8-2-7 参照)

【排泄】

排泄は、有効回答 257 件中、身体介助必要が 160 件 (62.3%)、身体介助必要なしが 97 件 (37.7%) であった。(表 3-8-2-8 参照)

【入浴】

入浴は、有効回答 288 件中、全介助が 86 件 (29.9%)、洗身洗髪介助が 103 件 (35.8%)、移動介助が 31 件 (10.8%)、その他一部介助が 58 件 (20.1%) で、自立が 10 件 (3.5%) であった。(表 3-8-2-9 参照)

⑤ 認知症の重症度

認知症の重症度は、有効回答 296 件中、ランクⅠが 12 件 (4.1%)、ランクⅡが 44 件 (14.9%)、ランクⅢが 109 件 (36.8%)、ランクⅣが 113 件 (38.2%)、ランクⅤが 18 件 (6.1%) であった。(表 3-8-2-10 参照)

⑥ 身体障害の重症度

身体障害の重症度は、有効回答 288 件中、J ランクが 26 件 (9.0%)、A ランクが 196 件 (68.1%)、B ランクが 58 件 (20.1%)、C ランクが 8 件 (2.8%) であった。(表 3-8-2-11 参照)

⑦ 高齢者パターン

高齢者の状態を総合的にみてパターン化するために、性別、排泄介助、認知症の重症度、身体障害の重症度の 4 項目を対象にして潜在クラス分析(注 1)を行った結果 2 パターンが可能となった。

第 1 パターンは、排泄介助で身体介助必要 (98.5%) がほとんどで、身体障害の重症度で A ランク (56.8%) と B ランク (35.7%) が多く、認知症の重症度でランクⅢ (43.6%) とランクⅣ (47.0%) が多いことから、これを「介助、中高程度重症度」と解釈した。このパターンには、有効回答 216 件のうち 117 件 (54.2%) が該当する。

第 2 パターンは、排泄介助で身体介助必要なし (79.3%) が多く、身体障害の重症度で J ランク (16.4%) と A ランク (80.4%) が多く、認知症の重症度でランクⅡ (29.0%) とランクⅢ (36.3%) が多いことから、これを「自立、軽中程度重症度」と解釈した。このパターンには 99 件 (45.8%) が該当する。

(表 3-8-2-12 参照) (潜在クラスモデルの評価経緯は表 3-8-2-13 参照)

(注 1) 潜在クラス分析について

潜在クラス分析は、全体集団から異質な部分集団の混在を識別する分析モデルである。

高齢者全体集団でみたとき、性別、排泄介助、認知症の重症度、身体障害の重症度の 4 項目間に関連があれば異質な部分集団が混在していると考えて、項目間の関連がない部分集団(これをクラスと呼ぶ)を識別する。具体的には、同一クラス内では対象 4 項目間の関連がなくなるように識別し、項目間の関連がなくなることを局所独立と呼ぶ。

クラス数は任意であるが、多くすれば局所独立が高まる反面モデルとしての適切さが損なわれる。適切なモデル(クラス数)を評価する指標として A I C や B I C などの情報量規準が用いられ、その数値が低い方が良いとされている。なおここで示すクラス毎の事例件数は確率的に求めた件数である(注 2 参照)。分析ソフトは“LatentGOLD”を用いた。

3) 解決前と解決後の変化

排泄介護拒否で解決経験がある 300 件における、解決前の状況と解決後の状況について割合を算出した。

(1) 解決前の状況

排泄介護拒否が解決される前の状況としては、有効回答 298 件中、「尿取りパッドへの失禁やズボンの汚染があり、尿臭強く、更衣への促しに対する拒否が強かった」が 150 件 (50.3%)、「パッドを交換しようとする」と抵抗した」が 143 件 (48.0%)、「トイレに誘うと「何を言っているんだ」と拒否された」が 113 件 (37.9%)、「失禁しズボンにしみ出して、尿臭がひどかった」が 81 件 (27.2%)、「オムツ交換をしようとする」と、つねる、叩くなど暴力行為があった」が 68 件 (22.8%) であった。(表 3-8-3-1 参照)

(2) 解決後の状況

排泄介護拒否が解決された後の状況としては、有効回答 298 件中、「多少抵抗はあるが、パッドの交換に応じるようになった」が 132 件 (44.3%)、「パッド内の失禁は時々見られるが、トイレ時の何回かは交換できるようになった」が 87 件 (29.2%)、「交換の際にお礼のことばを言ってくれるようになった」が 84 件 (28.2%)、「声をかけると抵抗無く、交換できるようになった」が 67 件 (22.5%)、「対応する職員によっては居室内では応じるようになった」が 66 件 (22.1%) であった。(表 3-8-3-2 参照)

4) 排泄介護拒否の解決方法

排泄介護拒否で解決経験がある 300 件における、解決方法の割合を算出するとともに、解決方法をパターン化して、どのパターンがどのような結果に貢献するのか、さらにその貢献は高齢者パターンでどう異なるのか分析した。

(1) 解決方法の概況

排泄介護拒否を解決する時に行った方法を具体的に記入してもらい、その内容を検討評価して 40 分類した。分類結果は、声かけの工夫に関するものが 18 分類、介助方法の工夫に関するものが 12 分類、介護者の工夫に関するものが 4 分類、環境調整に関するものが 3 分類、その他が 3 分類であった。

有効回答 298 件のなかで多くあがったものは、「排泄パターンに応じ」が 183 件 (61.4%)、「信頼関係のある職員が」が 182 件 (61.1%)、「好きな話題で声かけ」が 164 件 (55.0%)、「着替えの流れ」が 118 件 (39.6%)、「トイレ時の下着交換」が 97 件 (32.6%)、「本人だけに声かけ」が 90 件 (30.2%)、「トイレの言葉禁止」が 88 件 (29.5%)、「交換後の処理をすばやく」が 73 件 (24.5%)、「安心できる場所で」が 69 件 (23.2%)、「トイレに誘う」が 68 件 (22.8%)、「事前に確認」が 53 件 (17.8%)、「薬の塗布」が 39 件 (13.1%)、「ケア方法の統一」が 30 件 (10.1%) などであり、1 事例あたり平均 4.5 項目であった。(表 3-8-4-1 参照)

5) 排泄介護拒否の解決に役立った情報

上記の解決方法個々について、役立った情報をあげてもらった。

有効回答延べ 1,256 件の解決方法について、役立った情報の割合を算出するとともに、情報をパターン化して、どの情報パターンがどの解決方法に関連するの分析した。

(1) 役立った情報の概況

有効回答 1,256 件のなかで多くあがったものは、「本人の気持ち、意志」が 584 件 (46.5%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」が 513 件 (40.8%)、「スタッフとの関係」が 347 件 (27.6%)、「気分」が 335 件 (26.7%)、「性格」が 230 件 (18.3%)、「交換場所」が 174 件 (13.9%)、「抵抗時の様子」が 160 件 (12.7%)、「認知機能」が 150 件 (11.9%)、「抵抗時の表情」が 139 件 (11.1%) などであり、ひとつの解決方法当たり平均 3.3 項目あげられた。(表 3-8-5-1 参照)

(2) 役立った情報の組み合わせパターン

ここでも上記の解決方法同様に、実際の組み合わせに高い確率で近似する組み合わせパターンを得るために潜在クラス分析を応用した。

その結果 17 の組み合わせパターンを得た。

第 1 パターンは平均 2.3 項目の組み合わせであり、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(63.9%)と「スタッフとの関係」(54.6%)を主として、「性格」(26.7%)他に分散して構成されている。第 1 パターンの該当方法は延べ 256 件 (20.4%)である。

第 2 パターンは平均 3.7 項目の組み合わせであり、「気分」(99.7%)を共通ベースとして、「本人の気持ち、意志」(68.0%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(58.0%)、「スタッフとの関係」(36.2%)、「性格」(28.5%)などで構成されている。第 2 パターンの該当方法は延べ 145 件 (11.5%)である。

第 3 パターンは平均 3.5 項目の組み合わせであり、「興味・関心」(70.0%)と「本人の気持ち、意志」(59.7%)を主として、「気分」(44.3%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(30.2%)、「性格」(28.1%)などで構成されている。第 3 パターンの該当方法は延べ 105 件 (8.4%)である。

第 4 パターンは平均 3.9 項目の組み合わせであり、「抵抗時の様子」(99.0%)を共通ベースとして、「抵抗時の表情」(53.1%)、「本人の気持ち、意志」(53.2%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(34.2%)、「気分」(28.8%)、「スタッフとの関係」(27.4%)などで構成されている。第 4 パターンの該当方法は延べ 94 件 (7.5%)である。

第 5 パターンは平均 3.7 項目の組み合わせであり、「本人の気持ち、意志」(91.0%)と「スタッフの声かけ内容・見守り方」(78.2%)を共通ベースとして、「スタッフとの関係」(56.4%)などで構成されている。第 5 パターンの該当方法は延べ 86 件 (6.8%)である。

第6パターンは平均3.7項目の組み合わせであり、「排泄間隔」(54.8%)と「本人の気持ち、意志」(50.1%)を主として、「排泄・排尿時間」(40.4%)、「尿意・排泄感覚」(30.0%)、「排泄頻度」(27.6%)、「排泄に関する生活習慣」(26.5%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(26.1%)などで構成されている。第6パターンの該当方法は延べ83件(6.6%)である。

第7パターンは平均2.2項目と最少の組み合わせであり、「本人の気持ち、意志」(99.8%)を共通ベースとして、「性格」(23.5%)、「認知機能」(20.3%)などで構成されている。第7パターンの該当方法は延べ70件(5.6%)である。

第8パターンは平均3.5項目の組み合わせであり、「交換場所」(99.5%)を共通ベースとして、「本人の気持ち、意志」(41.9%)、「気分」(31.8%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(31.9%)などで構成されている。第8パターンの該当方法は延べ67件(5.3%)である。

第9パターンは平均3.2項目の組み合わせであり、「皮膚疾患」(44.1%)、「失禁有無」(31.2%)、「排泄状況」(25.8%)、「パッドの必要性」(29.6%)などで構成されている。第9パターンの該当方法は延べ67件(5.3%)である。

第10パターンは平均3.8項目の組み合わせであり、「気分」(70.7%)を主として、「本人の気持ち、意志」(44.6%)、「排泄・排尿時間」(37.6%)、「排泄状況」(32.0%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(26.3%)、「水分状態」(25.6%)などで構成されている。第10パターンの該当方法は延べ55件(4.4%)である。

第11パターンは平均4.2項目の組み合わせであり、「本人の気持ち、意志」(81.2%)を共通ベースとして、「排泄間隔」(52.5%)、「交換場所」(49.7%)、「気分」(43.3%)、「抵抗時の表情」(28.4%)、「抵抗時の様子」(25.1%)、「交換の時間帯」(25.1%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(25.3%)などで構成されている。第11パターンの該当方法は延べ55件(4.4%)である。

第12パターンは平均3.1項目の組み合わせであり、「認知機能」(43.0%)、「認知症の種類」(22.3%)、「見当識」(21.1%)、「尿意・排泄感覚」(28.9%)、「施設環境」(26.6%)などで構成されている。第12パターンの該当方法は延べ40件(3.2%)である。

第13パターンは平均3.8項目の組み合わせであり、「尿意・排泄感覚」(54.7%)を主として、「失禁有無」(45.3%)、「抵抗時の様子」(29.0%)、「抵抗時の表情」(28.2%)、「排泄場所」(28.8%)、「排泄・排尿時間」(27.0%)などで構成されている。第13パターンの該当方法は延べ37件(2.9%)である。

第14パターンは平均4.1項目の組み合わせであり、「本人の気持ち、意志」(89.1%)を共通ベースとして、「認知機能」(72.3%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(45.9%)、「失禁有無」(33.1%)、「歩行・下肢機能」(29.1%)、「抵抗時の表情」(26.1%)などで構成されている。第14パターンの該当方法は延べ32件(2.5%)である。

第15パターンは平均3.7項目の組み合わせであり、「交換場所」(64.0%)、「交換の時間帯」(52.8%)、「尿意・排泄感覚」(51.0%)の3項目を主として、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(47.0%)などで構成されている。第15パターンの該当方法は延べ31件(2.5%)である。

第16パターンは平均4.0項目の組み合わせであり、「スタッフとの関係」(99.6%)を共通ベースとして、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(64.7%)、「気分」(44.3%)、「抵抗時の様子」(27.0%)などで構成されている。第16パターンの該当方法は延べ23件(1.8%)である。

第17パターンは平均4.8項目と最多の組み合わせであり、「介護者の性別」(98.6%)を共通ベースとして、「気分」(76.4%)、「スタッフの声かけ内容・見守り方」(68.4%)、「便の状態」(58.6%)、「性格」(50.9%)、「認知症の種類」(39.3%)、「スタッフとの関係」(34.6%)などで構成されている。第17パターンの該当方法は延べ10件(0.8%)である。(表3-8-5-2参照)(潜在クラスモデルの評価経緯は表3-8-5-3参照)

(3) 情報の組み合わせパターンが関連する解決方法

上記の情報組み合わせがどの解決方法に関連するか分析すると次の傾向である。

第10パターン(「気分」を主として、「本人の気持ち、意志」、「排泄・排尿時間」、「排泄状況」、「スタッフの声かけ内容・見守り方」、「水分状態」などで構成された平均3.8項目の組み合わせ)は、「排泄パターンに応じ」が46.9%と多い。

第6パターン(「排泄間隔」と「本人の気持ち、意志」を主として、「排泄・排尿時間」、「尿意・排泄感覚」、「排泄頻度」、「排泄に関する生活習慣」、「スタッフの声かけ内容・見守り方」などで構成された平均3.7項目の組み合わせ)は、「排泄パターンに応じ」が38.9%、「トイレに誘う」が16.8%と多い。

第13パターン(「尿意・排泄感覚」を主として、「失禁有無」、「抵抗時の様子」、「抵抗時の表情」、「排泄場所」、「排泄・排尿時間」などで構成された平均3.8項目の組み合わせ)は、「排泄パターンに応じ」が35.9%と多い。

第1パターン(「スタッフの声かけ内容・見守り方」と「スタッフとの関係」を主として、「性格」などで構成された平均2.3項目の組み合わせ)は、「信頼関係のある職員が」が35.2%、「好きな話題で声かけ」が18.8%と多い。

第3パターン(「興味・関心」と「本人の気持ち、意志」を主として、「気分」、「スタッフの声かけ内容・見守り方」、「性格」などで構成された平均3.5項目の組み合わせ)は、「好きな話題で声かけ」が26.3%と多い。

第9パターン(「皮膚疾患」、「失禁有無」、「排泄状況」、「パッドの必要性」などで構成された平均3.2項目の組み合わせ)は、「薬の塗布」が24.7%と多い。

第8パターン(「交換場所」を共通ベースとして、「本人の気持ち、意志」、「気分」、「スタッフの声かけ内容・見守り方」などで構成された平均3.5項目の組み合わせ)は、「安心できる場所で」が22.6%、「着替えの流れ」が22.5%、「トイ

レ時の下着交換」が 15.7%と多い。

第 16 パターン（「スタッフとの関係」を共通ベースとして、「スタッフの声かけ内容・見守り方」、「気分」、「抵抗時の様子」などで構成された平均 4.0 項目の組み合わせ）は、「着替えの流れ」が 21.9%と多い。

第 11 パターン（「本人の気持ち、意志」を共通ベースとして、「排泄間隔」、「交換場所」、「気分」、「抵抗時の表情」、「抵抗時の様子」、「交換の時間帯」、「スタッフの声かけ内容・見守り方」などで構成された平均 4.2 項目の組み合わせ）は、「排泄パターンに応じ」が 21.7%と多い。

第 14 パターン（「本人の気持ち、意志」を共通ベースとして、「認知機能」、「スタッフの声かけ内容・見守り方」、「失禁有無」、「歩行・下肢機能」、「抵抗時の表情」などで構成された平均 4.1 項目の組み合わせ）は、「トイレ時の下着交換」が 21.4%、「排泄パターンに応じ」が 20.1%と多い。

第 15 パターン（「交換場所」、「交換の時間帯」、「尿意・排泄感覚」の 3 項目を主として、「スタッフの声かけ内容・見守り方」などで構成された平均 3.7 項目の組み合わせ）は、「トイレ時の下着交換」が 21.4%、「着替えの流れ」が 17.2%と多い。（表 3-8-5-4 参照）

6) 絶対にやってはいけない対応

絶対にやってはいけない対応としては、有効回答 286 件中、「声かけせず無言で行う」が 247 件 (86.4%)、「放っておく」が 242 件 (84.6%)、「無理やり交換する」が 237 件 (82.9%)、「臭い、汚いからなどの声かけ」が 230 件 (80.4%)、「無理にトイレに連れて行く」が 226 件 (79.0%)、「何度もしつこく声をかける」が 215 件 (75.2%) となっている。（表 3-8-6-1 参照）

(表3-8-1-1) 回答者の年齢

| | 有効回答数 | 24歳以下 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60歳以上 |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 実数 | 307 | 16 | 32 | 52 | 34 | 34 | 41 | 35 | 38 | 25 |
| パーセント | 100.0 | 5.2 | 10.4 | 16.9 | 11.1 | 11.1 | 13.4 | 11.4 | 12.4 | 8.1 |

(平均年齢等)

| 有効回答数 | 平均 歳 | 標準偏差 歳 | 最小値 歳 | 最大値 歳 |
|-------|---------|-----------|----------|----------|
| 307 | 42.8 | 13.1 | 19 | 94 |

(表3-8-1-2) 回答者の性別割合

| | 有効回答数 | 男 | 女 |
|-------|-------|------|------|
| 実数 | 310 | 51 | 259 |
| パーセント | 100.0 | 16.5 | 83.5 |

(表3-8-1-3) 回答者の現在の職名

| | 有効回答数 | ケアワーカー | 相談員 | ケアマネジャー | 看護師 | その他 |
|-------|-------|--------|-----|---------|-----|------|
| 実数 | 302 | 138 | 5 | 91 | 24 | 72 |
| パーセント | 100.0 | 45.7 | 1.7 | 30.1 | 7.9 | 23.8 |

(表3-8-1-4) 回答者の役職

| | 有効回答数 | 施設長 | 管理者 | 主任・リーダー | 事務長 | 理事長 | なし |
|-------|-------|-----|------|---------|-----|-----|------|
| 実数 | 302 | 8 | 104 | 78 | 1 | 0 | 114 |
| パーセント | 100.0 | 2.6 | 34.4 | 25.8 | 0.3 | 0.0 | 37.7 |

(表3-8-1-5) 回答者の所有資格

| | 有効回答数 | 看護師(准看護師) | 介護福祉士 | 社会福祉士 | ケアマネジャー | ヘルパー | その他 |
|-------|-------|-----------|-------|-------|---------|------|-----|
| 実数 | 305 | 34 | 191 | 6 | 123 | 116 | 28 |
| パーセント | 100.0 | 11.1 | 62.6 | 2.0 | 40.3 | 38.0 | 9.2 |

(表3-8-1-6) 回答者の所属事業種

| | 有効回答数 | 介護老人福祉施設 | 介護老人福祉施設(ユニット型) | 認知症対応型共同生活介護事業 | 小規模多機能型通所介護事業 | その他 |
|-------|-------|----------|-----------------|----------------|---------------|-----|
| 実数 | 308 | 3 | 2 | 293 | 2 | 12 |
| パーセント | 100.0 | 1.0 | 0.6 | 95.1 | 0.6 | 3.9 |

(表3-8-1-7) 回答者の所属事業所での勤続年数

| 有効回答数 | 平均 年 | 標準偏差 年 | 最小値 年 | 最大値 年 |
|-------|---------|-----------|----------|----------|
| 313 | 4.6 | 3.5 | 0.1 | 23.0 |

(表 3-8-1-8) 回答者の総介護経験年数

| 有効回答数 | 平均年 | 標準偏差年 | 最小値年 | 最大値年 |
|-------|-----|-------|------|------|
| 308 | 9.0 | 5.7 | 0.5 | 44.9 |

(表 3-8-2-1) 排泄介護拒否の解決経験の有無

| | 有効回答数 | ある | ない |
|-------|-------|------|-----|
| 実数 | 313 | 300 | 13 |
| パーセント | 100.0 | 95.8 | 4.2 |

(表 3-8-2-2) 高齢者の年齢

| | 解決経験のある有効回答数 | 74歳以下 | 75~79歳 | 80~84歳 | 85~89歳 | 90歳以上 |
|-------|--------------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 実数 | 279 | 12 | 43 | 89 | 78 | 57 |
| パーセント | 100.0 | 4.3 | 15.4 | 31.9 | 28.0 | 20.4 |

(平均年齢等)

| 解決経験のある有効回答数 | 平均歳 | 標準偏差歳 | 最小値歳 | 最大値歳 |
|--------------|------|-------|------|------|
| 279 | 84.2 | 6.3 | 56 | 101 |

(表 3-8-2-3) 高齢者の性別割合

| | 解決経験のある有効回答数 | 男 | 女 |
|-------|--------------|------|------|
| 実数 | 295 | 55 | 240 |
| パーセント | 100.0 | 18.6 | 81.4 |

(表 3-8-2-4) 認知症の原因疾患

| | 解決経験のある有効回答数 | アルツハイマー型 | 脳血管疾患型 | 前頭側頭型 | 混合 | その他 |
|-------|--------------|----------|--------|-------|-----|------|
| 実数 | 270 | 146 | 69 | 1 | 23 | 31 |
| パーセント | 100.0 | 54.1 | 25.6 | 0.4 | 8.5 | 11.5 |

(表 3-8-2-5) 機能障害部位

| | 解決経験のある人 | 首 | 上肢 | 下肢 | 体幹 | 無回答(=なし) |
|-------|----------|-----|-----|------|-----|----------|
| 実数 | 300 | 0 | 2 | 88 | 5 | 205 |
| パーセント | 100.0 | 0.0 | 0.7 | 29.3 | 1.7 | 68.3 |

(表 3-8-2-6) 食事介助

| | 解決経験のある有効回答数 | 全介助 | 一部介助 | 自立 |
|-------|--------------|-----|------|------|
| 実数 | 281 | 12 | 80 | 189 |
| パーセント | 100.0 | 4.3 | 28.5 | 67.3 |

(表 3-8-2-7) 移動

| | 解決経験のある有効回答数 | 杖自立 | 短距離歩行自立 | 長距離歩行自立 | その他(回答者追記) |
|-------|--------------|------|---------|---------|------------|
| 実数 | 236 | 29 | 142 | 63 | 2 |
| パーセント | 100.0 | 12.3 | 60.2 | 26.7 | 0.8 |

(表 3-8-2-8) 排泄

| | 解決経験のある有効回答数 | 身体介助必要 | 身体介助不要なし |
|-------|--------------|--------|----------|
| 実数 | 257 | 160 | 97 |
| パーセント | 100.0 | 62.3 | 37.7 |

(表 3-8-2-9) 入浴

| | 解決経験のある有効回答数 | 全介助 | 移動介助 | 洗身洗髪介助 | その他一部介助 | 自立 |
|-------|--------------|------|------|--------|---------|-----|
| 実数 | 288 | 86 | 31 | 103 | 58 | 10 |
| パーセント | 100.0 | 29.9 | 10.8 | 35.8 | 20.1 | 3.5 |

(表 3-8-2-10) 認知症の重症度

| | 解決経験のある有効回答数 | I | II | III | IV | V |
|-------|--------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| | | 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している | 日常生活に支障を来すような症状、行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる | ランクIIの症状がときどき見られ、介護を必要とする(徘徊、失禁など) | ランクIIの症状が頻繁に見られ、常に介護を必要とする | 著しい精神症状や問題行動あるいは、重篤な身体疾患が見られ専門医療を要する |
| 実数 | 296 | 12 | 44 | 109 | 113 | 18 |
| パーセント | 100.0 | 4.1 | 14.9 | 36.8 | 38.2 | 6.1 |

(表 3-8-2-11) 身体障害の重症度

| | 解決経験のある有効回答数 | J | A | B | C |
|-------|--------------|----------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| | | 何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する | 屋内の生活は概ね自立しているが、介助なしに外出しない | 屋内の生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活主体で座位を保つ | 一日中ベッドで過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する |
| 実数 | 288 | 26 | 196 | 58 | 8 |
| パーセント | 100.0 | 9.0 | 68.1 | 20.1 | 2.8 |

(表 3-8-2-12) 排泄介護拒否高齢者のパターン
(潜在クラス2クラスモデルのプロフィール)

| 項目 | カテゴリー | 全体 | (n=216) | |
|--------------|----------|-------|-------------------------|-------------------------|
| | | | パターン1 介助、中高 程度重症度 | パターン2 自立、軽中 程度重症度 |
| | サイズ | 1.000 | 0.543 | 0.457 |
| 性別 | 男 | 0.190 | 0.224 | 0.149 |
| | 女 | 0.810 | 0.776 | 0.851 |
| 排泄介助 | 身体介助必要 | 0.630 | 0.985 | 0.207 |
| | 身体介助必要なし | 0.370 | 0.015 | 0.793 |
| 認知症の 重症度 | I | 0.032 | 0.000 | 0.071 |
| | II | 0.144 | 0.021 | 0.290 |
| | III | 0.403 | 0.436 | 0.363 |
| | IV | 0.366 | 0.470 | 0.242 |
| | V | 0.056 | 0.073 | 0.035 |
| 身体障害の 重症度 | J | 0.093 | 0.032 | 0.164 |
| | A | 0.676 | 0.568 | 0.804 |
| | B | 0.208 | 0.357 | 0.032 |
| | C | 0.023 | 0.043 | 0.000 |

(参考) 該当事例数 → (216) (117) (99)

(表 3-8-2-13) 潜在クラスモデル評価 (排泄介護拒否高齢者パターン)
(情報量規準)

| モデル(クラス数) | BIC | AIC |
|-------------|--------|--------|
| モデル1(クラス数1) | 1486.3 | 1456.0 |
| モデル2(クラス数2) | 1466.5 | 1402.4 |
| モデル3(クラス数3) | 1509.2 | 1411.4 |
| モデル4(クラス数4) | 1550.1 | 1418.5 |

(表 3-8-3-1) 解決前の状況

| | 解決経験のある有効回答数 | 尿取りパッドへの失禁やズボンの汚染があり、尿臭強く、更衣への促しに対する拒否が強かった | パッドを交換しようとする抵抗した | トイレに誘うと「何を言っているんだ」と拒否された | オムツ交換をしようとする、つねる、叩くなど暴力行為があった | 失禁しズボンにしみ出して、尿臭がひどかった | その他 |
|-------|--------------|---|------------------|--------------------------|-------------------------------|-----------------------|-----|
| 実数 | 298 | 150 | 143 | 113 | 68 | 81 | 21 |
| パーセント | 100.0 | 50.3 | 48.0 | 37.9 | 22.8 | 27.2 | 7.0 |

(表 3-8-3-2) 解決後の状況

| | 解決経験のある有効回答数 | 多少抵抗はあるが、パッドの交換に応じるようになった | 対応する職員によっては居室内では応じるようになった | パッド内の失禁は時々見られるが、トイレ時の何回かは交換できるようになった | 声をかけると抵抗無く、交換できるようになった | 交換の際にお礼のことばを言ってくれるようになった | その他 |
|-------|--------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------------|------------------------|--------------------------|-----|
| 実数 | 298 | 132 | 66 | 87 | 67 | 84 | 28 |
| パーセント | 100.0 | 44.3 | 22.1 | 29.2 | 22.5 | 28.2 | 9.4 |

(表 3-8-4-1) 排泄介護拒否の解決方法

| 区分 | code | 解決時に行った方法 | 実数 | % |
|--------|---------|--------------|------------|-------|
| 有効回答数 | | | 298 | 100.0 |
| 声かけの工夫 | 101 | トイレの言葉禁止 | 88 | 29.5 |
| | 102 | 薬の塗布 | 39 | 13.1 |
| | 103 | トイレに誘う | 68 | 22.8 |
| | 104 | 排泄パターンに応じ | 183 | 61.4 |
| | 105 | 本人だけに声かけ | 90 | 30.2 |
| | 106 | 時間を置き繰り返す | 4 | 1.3 |
| | 107 | 衛生・疾病に関する説明 | 12 | 4.0 |
| | 109 | 家族からの誘導 | 3 | 1.0 |
| | 110 | 短く、わかりやすく | 1 | 0.3 |
| | 111 | 全員に声かけ | 1 | 0.3 |
| | 112 | 職員と一緒にトイレへ | 2 | 0.7 |
| | 113 | 好きな話題で声かけ | 164 | 55.0 |
| | 114 | 検査のため | 1 | 0.3 |
| | 115 | 医者の指示と声かけ | 1 | 0.3 |
| | 116 | 衛生状態の確認 | 2 | 0.7 |
| | 117 | 入浴に誘導 | 1 | 0.3 |
| | 118 | 笑顔でやさしく | 5 | 1.7 |
| | 190 | その他 | 10 | 3.4 |
| | 介助方法の工夫 | 201 | トイレ時の下着交換 | 97 |
| 202 | | 事前に確認 | 53 | 17.8 |
| 203 | | 着替えの流れ | 118 | 39.6 |
| 204 | | 交換後の処理をすばやく | 73 | 24.5 |
| 205 | | 説明し、自分で | 3 | 1.0 |
| 206 | | すばやく | 3 | 1.0 |
| 207 | | 室温、毛布等の工夫 | 2 | 0.7 |
| 209 | | 好きな話題で会話しながら | 9 | 3.0 |
| 210 | | 洗濯の勧め | 2 | 0.7 |
| 211 | | 定時交換 | 2 | 0.7 |
| 212 | | 気分の良い時に | 3 | 1.0 |
| 290 | | その他 | 8 | 2.7 |
| 介助者の工夫 | | 301 | 信頼関係のある職員が | 182 |
| | 302 | ケア方法の統一 | 30 | 10.1 |
| | 303 | 介助者の変更 | 10 | 3.4 |
| | 390 | その他 | 3 | 1.0 |
| 環境調整 | 401 | 安心できる場所で | 69 | 23.2 |
| | 405 | パッド、下着の保管方法 | 3 | 1.0 |
| | 490 | その他 | 2 | 0.7 |
| その他 | 502 | 医師からの指示 | 1 | 0.3 |
| | 503 | 家族の面会を増やす | 1 | 0.3 |
| | 590 | その他 | 5 | 1.7 |

(参考)平均記入項目数 → 4.5

(表3-8-5-1) 排泄介護拒否の解決に役立った情報

| 区分 | code | 解決に役立った情報 | 実数 | % |
|-------------|--------|-----------------|--------|-------|
| 計 (延解決方法件数) | | | 1,256 | 100.0 |
| 認知能力 | 1 | 認知機能 | 150 | 11.9 |
| | 2 | 認知症の種類 | 28 | 2.2 |
| | 3 | 見当識 | 34 | 2.7 |
| | 4 | 認知症罹患期間 | 1 | 0.1 |
| 健康面 | 5 | 服薬状況 | 21 | 1.7 |
| | 6 | 現病・既往歴 | 16 | 1.3 |
| | 7 | 失禁有無 | 103 | 8.2 |
| | 8 | 水分状態 | 26 | 2.1 |
| | 9 | 便の状態 | 30 | 2.4 |
| | 10 | 体重 | 2 | 0.2 |
| | 11 | 睡眠時間・状況 | 21 | 1.7 |
| | 12 | 皮膚疾患 | 46 | 3.7 |
| | 13 | 排泄状況 | 91 | 7.2 |
| 能力・機能 | 14 | 歩行・下肢機能 | 34 | 2.7 |
| | 15 | 視覚機能 | 6 | 0.5 |
| | 16 | 言語能力 | 32 | 2.5 |
| | 17 | 上肢機能 | 0 | 0.0 |
| | 18 | 尿意・排泄感覚 | 123 | 9.8 |
| 心理面 | 19 | 気分 | 335 | 26.7 |
| | 20 | 本人の気持ち、意志 | 584 | 46.5 |
| | 21 | 興味・関心 | 116 | 9.2 |
| 排泄行動 | 22 | 排泄・排尿時間 | 88 | 7.0 |
| | 23 | 排泄間隔 | 120 | 9.6 |
| | 24 | 排泄頻度 | 41 | 3.3 |
| | 25 | 排泄場所 | 40 | 3.2 |
| | 26 | 抵抗が始まった時期 | 14 | 1.1 |
| | 27 | 排泄に関する生活習慣 | 67 | 5.3 |
| | 28 | パッドの必要性 | 48 | 3.8 |
| | 29 | 交換の時間帯 | 94 | 7.5 |
| | 抵抗時の状態 | 30 | 抵抗時の様子 | 160 |
| 31 | | 抵抗時の表情 | 139 | 11.1 |
| 生活習慣 | 32 | 生活状況(数日内) | 18 | 1.4 |
| | 33 | 生活習慣(ここ数年) | 67 | 5.3 |
| | 34 | 生活歴(幼少期から) | 50 | 4.0 |
| 環境 | 35 | 交換場所 | 174 | 13.9 |
| | 36 | 施設環境 | 30 | 2.4 |
| 人間関係 | 37 | 他の入居者との関係 | 22 | 1.8 |
| | 38 | スタッフとの関係 | 347 | 27.6 |
| | 39 | 家族関係 | 27 | 2.1 |
| 介護者の対応 | 40 | スタッフの声かけ内容・見守り方 | 513 | 40.8 |
| | 41 | 介護者の性別 | 93 | 7.4 |
| その他 | 42 | 性格 | 230 | 18.3 |
| | 43 | その他 | 1 | 0.1 |

(参考)平均記入項目数 →

3.3

(表3-8-5-2) 排泄介護拒否の解決に役立った情報の組み合わせパターン
(潜在クラス17クラスタモデルのプロフィール)

| 区分 | code | 解決に役立った情報 クラスタサイズ | (n=1256) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|----------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | パターン1 | パターン2 | パターン3 | パターン4 | パターン5 | パターン6 | パターン7 | パターン8 | パターン9 | パターン10 | パターン11 | パターン12 | パターン13 | パターン14 | パターン15 | パターン16 | パターン17 |
| 認知能力 | 1 | 認知機能 | 1.000 | 0.204 | 0.115 | 0.084 | 0.075 | 0.069 | 0.068 | 0.056 | 0.054 | 0.053 | 0.044 | 0.044 | 0.032 | 0.030 | 0.025 | 0.018 | 0.008 |
| | 2 | 認知の遅延 | 0.119 | 0.122 | 0.104 | 0.148 | 0.180 | 0.000 | 0.018 | 0.203 | 0.104 | 0.000 | 0.088 | 0.034 | 0.430 | 0.043 | 0.000 | 0.000 | 0.001 |
| | 3 | 見当識 | 0.022 | 0.000 | 0.015 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.027 | 0.000 | 0.000 | 0.146 | 0.223 | 0.000 | 0.000 | 0.133 | 0.000 |
| | 4 | 認知症鑑別期 | 0.027 | 0.004 | 0.003 | 0.051 | 0.011 | 0.038 | 0.000 | 0.105 | 0.000 | 0.034 | 0.000 | 0.024 | 0.211 | 0.000 | 0.000 | 0.159 | 0.000 |
| 健康面 | 5 | 認知症鑑別期 | 0.001 | 0.004 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| | 6 | 認知症鑑別期 | 0.017 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.031 | 0.000 | 0.007 | 0.000 | 0.158 | 0.000 | 0.000 | 0.132 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.195 |
| | 7 | 失禁の有無 | 0.013 | 0.004 | 0.000 | 0.000 | 0.011 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.136 | 0.000 | 0.018 | 0.072 | 0.000 | 0.032 | 0.000 | 0.000 |
| | 8 | 水分摂取 | 0.082 | 0.000 | 0.052 | 0.000 | 0.000 | 0.038 | 0.001 | 0.001 | 0.167 | 0.312 | 0.134 | 0.000 | 0.081 | 0.463 | 0.331 | 0.200 | 0.000 |
| | 9 | 便の状態 | 0.021 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.034 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.082 | 0.256 | 0.000 | 0.068 | 0.000 | 0.030 | 0.000 | 0.000 |
| | 10 | 体重 | 0.024 | 0.008 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.010 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.070 | 0.092 | 0.041 | 0.000 | 0.023 | 0.000 | 0.000 | 0.586 |
| | 11 | 睡眠時間・状況 | 0.017 | 0.000 | 0.000 | 0.010 | 0.000 | 0.000 | 0.012 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| | 12 | 皮膚疾患 | 0.037 | 0.000 | 0.000 | 0.031 | 0.000 | 0.027 | 0.038 | 0.000 | 0.000 | 0.060 | 0.025 | 0.000 | 0.000 | 0.158 | 0.000 | 0.072 | 0.044 |
| | 13 | 排便状況 | 0.073 | 0.000 | 0.016 | 0.000 | 0.026 | 0.000 | 0.024 | 0.120 | 0.000 | 0.258 | 0.000 | 0.320 | 0.195 | 0.000 | 0.144 | 0.001 | 0.198 |
| 能力・機能 | 14 | 排泄-排泄機能 | 0.027 | 0.000 | 0.022 | 0.000 | 0.007 | 0.000 | 0.073 | 0.021 | 0.012 | 0.000 | 0.057 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.036 | 0.000 | 0.000 |
| | 15 | 投薬機能 | 0.005 | 0.003 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| | 16 | 言語能力 | 0.026 | 0.004 | 0.091 | 0.023 | 0.021 | 0.025 | 0.000 | 0.039 | 0.000 | 0.000 | 0.032 | 0.000 | 0.088 | 0.000 | 0.106 | 0.000 | 0.000 |
| | 18 | 尿意-排泄感覚 | 0.098 | 0.009 | 0.105 | 0.000 | 0.000 | 0.068 | 0.300 | 0.042 | 0.000 | 0.097 | 0.136 | 0.000 | 0.289 | 0.547 | 0.200 | 0.093 | 0.001 |
| 心調面 | 19 | 気分 | 0.267 | 0.000 | 0.397 | 0.443 | 0.286 | 0.001 | 0.001 | 0.001 | 0.318 | 0.091 | 0.707 | 0.433 | 0.001 | 0.185 | 0.001 | 0.051 | 0.784 |
| | 20 | 本人の気持ち・意志 | 0.465 | 0.133 | 0.680 | 0.587 | 0.532 | 0.910 | 0.998 | 0.448 | 0.208 | 0.440 | 0.812 | 0.210 | 0.040 | 0.210 | 0.002 | 0.004 | 0.003 |
| | 21 | 興味・関心 | 0.082 | 0.015 | 0.009 | 0.700 | 0.027 | 0.064 | 0.000 | 0.000 | 0.098 | 0.000 | 0.173 | 0.029 | 0.173 | 0.064 | 0.000 | 0.000 | 0.001 |
| 排泄行動 | 22 | 排泄-排泄時間 | 0.070 | 0.008 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.069 | 0.404 | 0.097 | 0.000 | 0.000 | 0.378 | 0.000 | 0.000 | 0.023 | 0.114 | 0.218 | 0.000 |
| | 23 | 排泄回数 | 0.098 | 0.019 | 0.000 | 0.032 | 0.024 | 0.148 | 0.548 | 0.000 | 0.000 | 0.122 | 0.221 | 0.525 | 0.000 | 0.037 | 0.033 | 0.001 | 0.000 |
| | 24 | 排泄回数 | 0.033 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.034 | 0.139 | 0.076 | 0.000 | 0.000 | 0.033 | 0.132 | 0.000 |
| | 25 | 排泄場所 | 0.032 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.111 | 0.000 | 0.152 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.074 | 0.000 | 0.033 | 0.188 | 0.000 |
| | 26 | 排泄が起きた時刻 | 0.011 | 0.000 | 0.014 | 0.000 | 0.042 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.028 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.029 | 0.054 | 0.000 | 0.133 | 0.000 |
| | 27 | 排泄に関する生活習慣 | 0.053 | 0.000 | 0.023 | 0.038 | 0.009 | 0.018 | 0.288 | 0.000 | 0.055 | 0.114 | 0.138 | 0.000 | 0.091 | 0.000 | 0.137 | 0.161 | 0.000 |
| | 28 | バッドの必要性 | 0.038 | 0.000 | 0.011 | 0.000 | 0.021 | 0.063 | 0.000 | 0.017 | 0.104 | 0.296 | 0.000 | 0.000 | 0.028 | 0.039 | 0.062 | 0.081 | 0.160 |
| | 29 | 交換の頻度 | 0.075 | 0.000 | 0.000 | 0.048 | 0.051 | 0.067 | 0.153 | 0.000 | 0.153 | 0.211 | 0.023 | 0.251 | 0.000 | 0.160 | 0.000 | 0.528 | 0.000 |
| | 30 | 排泄時の様子 | 0.127 | 0.009 | 0.000 | 0.000 | 0.980 | 0.075 | 0.132 | 0.001 | 0.085 | 0.071 | 0.000 | 0.251 | 0.068 | 0.290 | 0.000 | 0.270 | 0.000 |
| | 31 | 排泄時の感情 | 0.111 | 0.015 | 0.034 | 0.085 | 0.531 | 0.100 | 0.079 | 0.000 | 0.115 | 0.060 | 0.089 | 0.284 | 0.000 | 0.284 | 0.261 | 0.000 | 0.069 |
| 生活習慣 | 32 | 生活状況(歳内) | 0.014 | 0.025 | 0.022 | 0.022 | 0.040 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.009 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.056 | 0.000 | 0.067 | 0.000 | 0.000 |
| | 33 | 生活習慣(ご飯年) | 0.063 | 0.033 | 0.051 | 0.090 | 0.085 | 0.070 | 0.004 | 0.000 | 0.139 | 0.108 | 0.000 | 0.000 | 0.163 | 0.000 | 0.198 | 0.000 | 0.000 |
| | 34 | 生活習慣(年少期から) | 0.040 | 0.044 | 0.002 | 0.192 | 0.043 | 0.000 | 0.029 | 0.051 | 0.039 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.141 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| | 35 | 交換場所 | 0.139 | 0.056 | 0.110 | 0.002 | 0.036 | 0.189 | 0.000 | 0.004 | 0.895 | 0.000 | 0.000 | 0.497 | 0.110 | 0.000 | 0.047 | 0.840 | 0.159 |
| | 36 | 施設環境 | 0.024 | 0.028 | 0.019 | 0.021 | 0.000 | 0.021 | 0.000 | 0.059 | 0.000 | 0.022 | 0.000 | 0.000 | 0.266 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 人間関係 | 37 | 他の人(看護士)との関係 | 0.018 | 0.020 | 0.000 | 0.010 | 0.021 | 0.000 | 0.020 | 0.041 | 0.046 | 0.079 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.033 | 0.000 | 0.000 |
| | 38 | スタッフとの関係 | 0.278 | 0.546 | 0.362 | 0.208 | 0.274 | 0.584 | 0.001 | 0.001 | 0.112 | 0.024 | 0.001 | 0.088 | 0.146 | 0.000 | 0.041 | 0.148 | 0.896 |
| | 39 | 家族関係 | 0.022 | 0.045 | 0.000 | 0.104 | 0.011 | 0.018 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 介護者の対応 | 40 | スタッフの声かけ内容・見守り方 | 0.408 | 0.639 | 0.580 | 0.302 | 0.342 | 0.782 | 0.261 | 0.119 | 0.319 | 0.057 | 0.283 | 0.253 | 0.001 | 0.001 | 0.459 | 0.470 | 0.684 |
| | 41 | 介護者の性別 | 0.074 | 0.205 | 0.070 | 0.013 | 0.064 | 0.023 | 0.029 | 0.066 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.089 | 0.000 | 0.000 | 0.986 |
| その他 | 42 | 性別 | 0.183 | 0.267 | 0.285 | 0.281 | 0.249 | 0.143 | 0.001 | 0.235 | 0.120 | 0.022 | 0.028 | 0.241 | 0.000 | 0.172 | 0.085 | 0.001 | 0.509 |

(備考) 平均項目数 (1256) 該当事例数 (286) から算定した数値を示したものであり、標準が偏差の増減、事例数が同値となることがある。
(注) 該当事例数は、各パターンのサイズ(標準)から算定した数値を示したものであり、標準が偏差の増減、事例数が同値となることがある。

(表 3-8-5-3) 潜在クラスモデル評価 (排泄介護拒否の解決に役立った情報の組み合わせパターン)

(情報量規準など)

| モデル(クラス数) | 情報量規準 | | Classification Statistics | | | |
|---------------|---------|---------|---------------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| | BIC | AIC | Class.Err. | Reduction errors | Entropy R-squared | Standard R-squared |
| モデル1(クラス数1) | 23866.7 | 23656.1 | 0.000 | 0.000 | 1.000 | 1.000 |
| モデル2(クラス数2) | 23591.4 | 23165.1 | 0.111 | 0.712 | 0.597 | 0.653 |
| モデル3(クラス数3) | 23714.1 | 23072.1 | 0.175 | 0.654 | 0.585 | 0.594 |
| モデル4(クラス数4) | 23866.5 | 23008.8 | 0.201 | 0.628 | 0.594 | 0.582 |
| モデル5(クラス数5) | 24023.5 | 22950.1 | 0.212 | 0.679 | 0.629 | 0.607 |
| モデル6(クラス数6) | 24176.6 | 22887.5 | 0.222 | 0.691 | 0.647 | 0.607 |
| モデル7(クラス数7) | 24384.2 | 22879.5 | 0.242 | 0.669 | 0.642 | 0.589 |
| モデル8(クラス数8) | 24596.7 | 22876.2 | 0.231 | 0.691 | 0.662 | 0.608 |
| モデル9(クラス数9) | 24808.7 | 22872.5 | 0.241 | 0.703 | 0.679 | 0.611 |
| モデル10(クラス数10) | 25025.3 | 22873.5 | 0.200 | 0.748 | 0.741 | 0.673 |
| モデル11(クラス数11) | 25274.1 | 22906.5 | 0.248 | 0.688 | 0.691 | 0.610 |
| モデル12(クラス数12) | 25502.7 | 22919.4 | 0.216 | 0.735 | 0.736 | 0.659 |
| モデル13(クラス数13) | 25719.2 | 22920.2 | 0.221 | 0.728 | 0.748 | 0.655 |
| モデル14(クラス数14) | 25988.7 | 22974.0 | 0.221 | 0.730 | 0.742 | 0.650 |
| モデル15(クラス数15) | 26228.8 | 22998.5 | 0.216 | 0.739 | 0.761 | 0.664 |
| モデル16(クラス数16) | 26480.9 | 23034.9 | 0.213 | 0.755 | 0.770 | 0.668 |
| モデル17(クラス数17) | 26678.5 | 23016.8 | 0.162 | 0.797 | 0.814 | 0.739 |
| モデル18(クラス数18) | 26965.2 | 23087.8 | 0.168 | 0.789 | 0.812 | 0.731 |
| モデル19(クラス数19) | 27207.7 | 23114.6 | 0.170 | 0.809 | 0.813 | 0.730 |
| モデル20(クラス数20) | 27482.5 | 23173.6 | 0.224 | 0.737 | 0.765 | 0.658 |